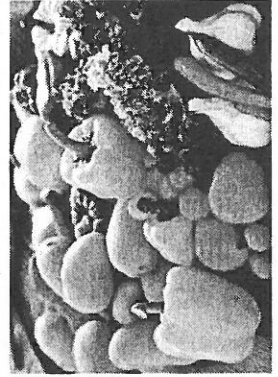
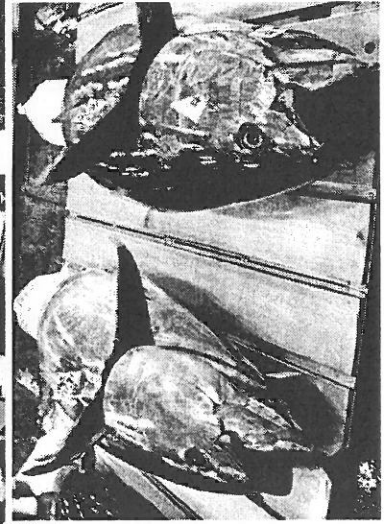
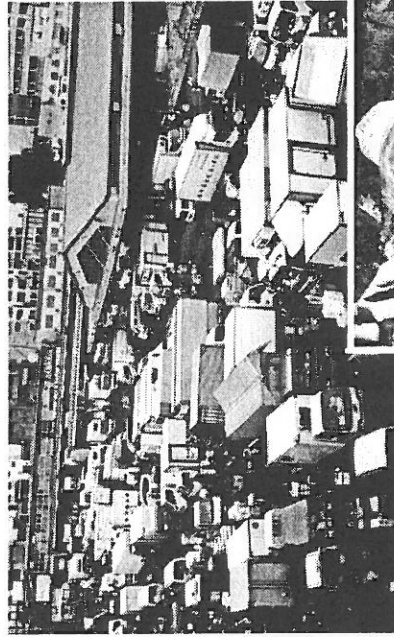
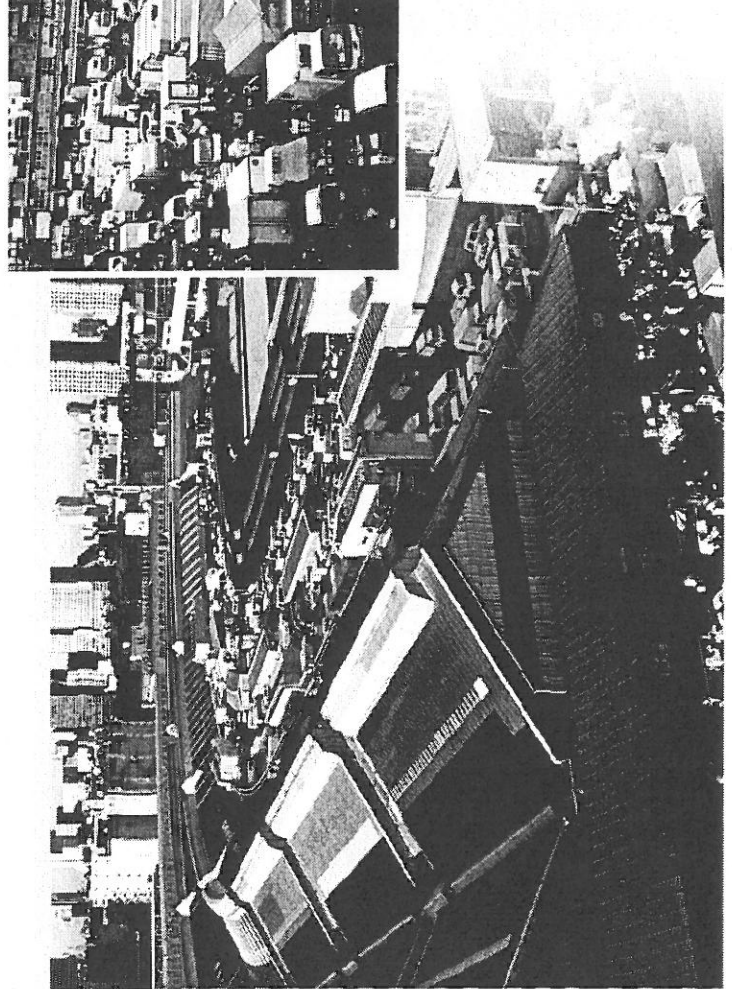
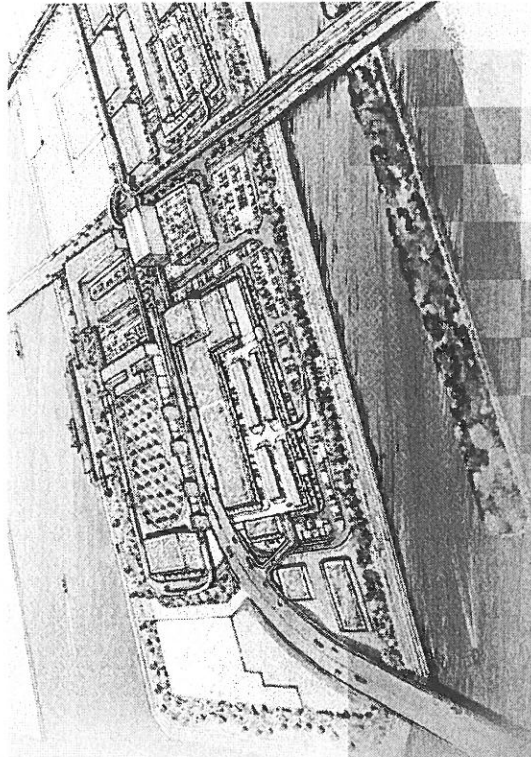


築地市場の移転整備

疑問解消BOOK

なぜ移転が必要なの？



東京都中央卸売市場

一第1章—なぜ移転整備が必要なの？

- 都民生活を支える築地市場の深刻な課題……………1
- これまでのリニューアル（再整備）の取組は？……………2
- 再整備は今でもできないの？……………3
- 再整備工事を行うと営業にどう影響があるの？……………4
- それでも再整備をしたら？……………5

Column 移転・再整備 いま・むかし……………6

一第2章—なぜ豊洲なの？

- 新しい市場には、どんな機能がどのくらい必要なの？……………7
- 40haの広さを他の市場と比べてみると……………8
- 移転先の条件は？……………9

Column 海外市場との比較……………9

一第3章—豊洲新市場予定地の土壌汚染対策は？

- 豊洲新市場予定地の土壌汚染は？……………10
- 専門家会議の提言した対策は？……………11
- どのように土壌汚染対策を実施していくの？……………12
- 土壌汚染対策の具体的な技術・工法……………13
- 対策は、ここまでカバーしています……………14

一第4章—どんな市場になるの？

- 築地から豊洲へ……………15
- ~時代のニーズに応えるために、生まれ変わります~
 - 1. 真の安全・安心の確保……………15
 - 2. 効率的な物流の実現……………16
 - 3. 多様なニーズへの対応……………16
- 環境に配慮した先進的な市場を実現します……………17
- 賑わいを創出し、まちづくりにも貢献します……………18
- 築地市場の魅力を引き継ぎ、さらに発展させていきます……………19

Column もっと知りたい！市場のセーワード……………20

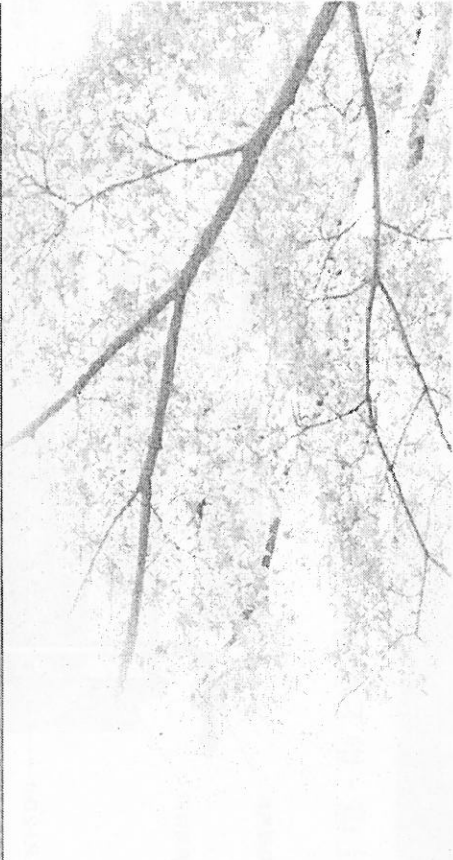
• 豊洲新市場に期待すること～市場業者さんの声～……………21

一第5章—新市場整備の今後の予定

- 新市場整備の今後の予定……………22

資料編

……………23～28



専門家会議の提言した対策は？

専門家会議では、平成20年7月、科学的知見に基づき、豊洲新市場予定地における土壌汚染対策として、土壌は環境基準以下に処理し、地下水は環境基準以下の浄化を目指すことを提言しました。

土壌汚染対策

- ① ガス工場操業時の地面の下2mを掘り、きれいな土壌と入れ替えます。
- ② その上に厚さ2.5mのきれいな土壌を盛ります。
- ③ ガス工場操業時の地面の下2mより下の土壌から、環境基準を超える操業に由来する汚染物質を取り除きます。

地下水汚染対策

- ④ 建物建設地は、建設後にあらためて対策を行うことが困難であるため、建設前に環境基準以下にします。
*排水基準：雨水は処理を行うことなく、下水に放流できる濃度レベル（環境基準の10倍）
- ⑤ 建物建設地以外は排水基準以下にし、将来的に環境基準以下にすることを目指します。
- ⑥ 地下水の管理を行い、地下水位を一定に保ちます。



地下水管理の内容

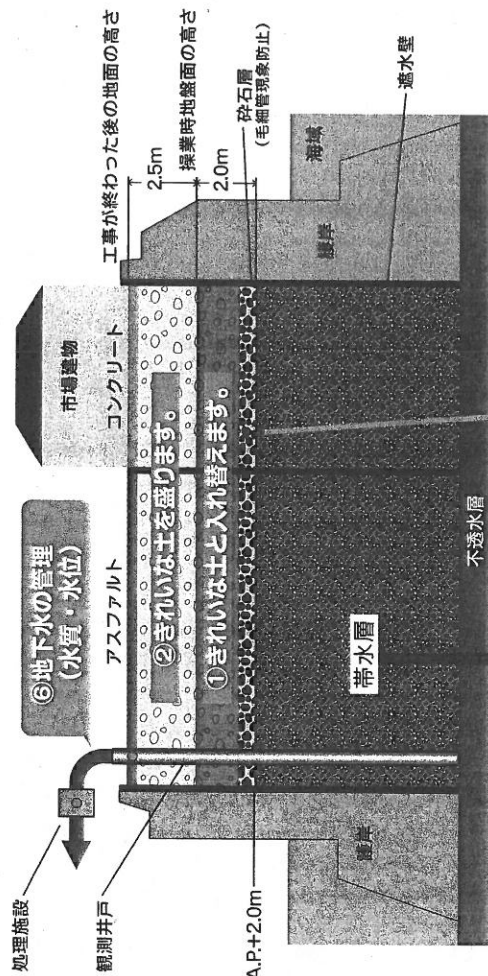
- 遮水壁で地下水の移動を防止します。
- 砕石層で毛細管現象による地下水上昇を、舗装などで雨水浸透による地下水上昇を防止します。
- 観測井戸で地下水位・水質を監視し、水位が上昇した場合、地下水をポンプでくみ上げ、処理施設で処理後、公共下水道に放流します。

このほか、都・市場業者及び学識経験者からなる協議会を設置して、情報を共有のうえ、安全性を確認していくことを提言しています。



これらの対策を行うことで、人が一生涯この地に住み続けても、健康影響が生じることはなく、生鮮食品を扱う市場として、食の安全・安心を十分確保していくことができます。

土壌・地下水対策（概略図）



水位・水質を継続的に監視し、地下水位を一定に保ちます。雨水浸透による水位の上昇が確認された場合は、地下水を汲み上げ、処理施設で処理した後、放流します。

③土壌対策

環境基準を超える汚染物質を取り除きます。

地下水対策

④建物建設地

建物着工までに環境基準以下に浄化します。

⑥建物建設地以外

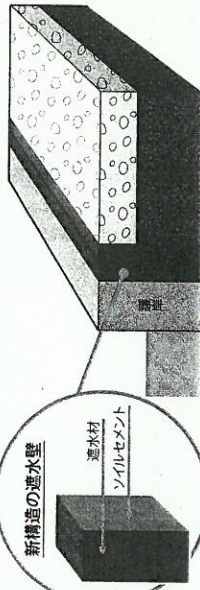
排水基準以下に浄化し、将来的には環境基準以下にします。

土壌汚染対策の具体的な技術・工法

技術会議でとりまとめた総合的な土壌汚染対策は、遮水壁の設置、汚染物質の処理、地下水の管理など、新市場予定地の汚染状況に適した、最先端技術を含む様々な技術・工法から構成されています。

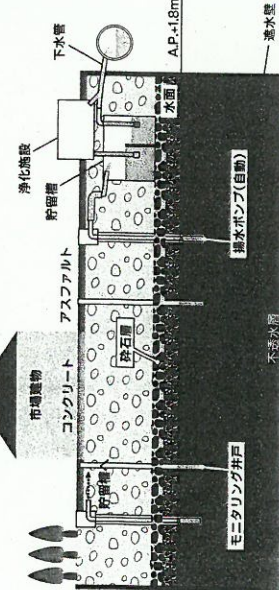
国内最大規模の新構造遮水壁

- 護岸側に現場の土とセメントを混合させて作るソイルセメントと、遮水材を組み合わせた新構造の遮水壁を設置



国内最大級の地下水管理システム

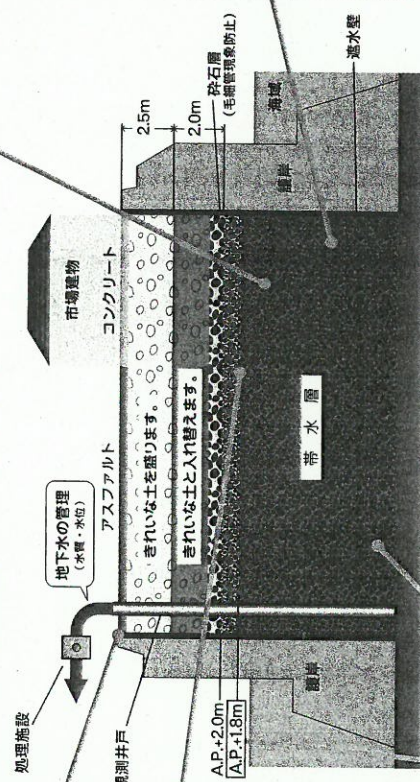
- 約40haの新市場の敷地全域にわたり地下水位を管理
- 水位計で観測したデータをもとに、自動で揚水ポンプを稼働させ、地下水位をリアルタイムに監視・制御



集中豪雨時にも管理水位(A.P.+2.0m)を維持

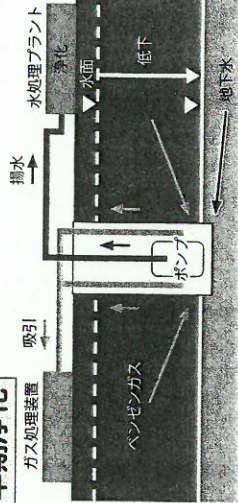
- 日常維持していく水位を、専門家会議が提言した管理水位から20cm下げることで、地中に約1.2万m³の天然の貯水機能を確保し、集中豪雨時においても管理水位を維持

専門家会議の提言を踏まえた技術会議の土壌汚染対策(概念図)



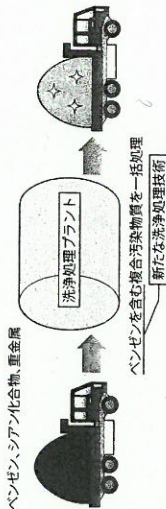
先進的工法による地下水の早期浄化

- 強力な揚水ポンプによる揚水と、土中に残ったベンゼンを揮発させて吸引するという二つの技術を組み合わせた先進的な工法により汚染地下水の早期浄化を実現



最先端の処理技術により複合的な汚染を确实・効率的に処理

- 土壌を汚染状況に応じてきめ細かく分類し、微生物処理、加熱処理、ベンゼンを含む複合的な汚染物質を洗浄できる新たな処理技術など、最先端の処理方法を採用

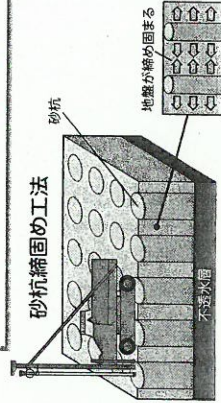


処理土量の縮減

- 土壌汚染状況を詳細に把握し、汚れた土壌のみを処理することで処理土量を縮減 (122万m³ ⇒ 100万m³)

土質特性を踏まえた地震時の液状化対策

- 液状化する層が厚い箇所には、地盤中に砂杭を打設して地盤を締め固めて液状化を防止する「砂杭締め固め工法」を採用
- 液状化する層が薄く表層にある箇所には、固化剤を用い地盤を格子状に固めて、液状化を防止する「格子状固化工法」を採用



(これらは、阪神・淡路大震災においても実績が確認された工法です)

なぜ監視設備が必要なの？

なぜ豊洲なの？

土壌汚染現象は？

どんな市場になるの？

新市場の整備予定

資料編